

株式会社環境エネルギー投資

Impact Report

1. Introduction

地球規模の課題を 解決するために

環境・エネルギー分野をリードする
ベンチャーキャピタルとして

地球規模の課題に対する迅速かつ大規模なソリューションが求められています。このような状況下で、気候変動や脱炭素課題に取り組むテクノロジーやビジネスモデルを有するスタートアップに対する期待と事業機会がますます拡大しています。当社は、こうした環境・社会課題に取り組むスタートアップがイノベーションを生み出し、飛躍的に成長すると信じ、投資活動を展開しています。

私たちの使命は、起業家の不断のイノベーションを通じて新たな産業を創造し、より良い世界を実現することです。これまでの投資活動で培った知見と国内外のネットワークを活用し、持続可能な社会の実現に向けて、日本の市場から世界にインパクトを与えるスタートアップへの投資・支援をしています。



Sustainability through Innovation and Entrepreneurship

自らも起業家精神を持ち、新しい事業の創造と革新的なイノベーションを起こすスタートアップに対する投資・支援を通じて、持続可能な社会の実現を目指します。

Investment

脱炭素を中心とした環境・社会課題に対して先見性をもって取り組み、新しい事業の創造と革新的なイノベーションを起こすスタートアップへ投資

Growth & Impact

インパクトの創出を通じて高い成長性を目指す投資先に対し、事業・インパクト戦略の策定と実行をサポート

Ecosystem

領域特化型VCのパイオニアとして、業界や国内外のネットワークを活用し、関連課題に取り組むスタートアップエコシステムを構築

Global

グローバル課題に対し、日本の市場から世界にインパクトを与えるポテンシャルを持つスタートアップを創出

環境・エネルギー分野に特化した ベンチャーキャピタルとして

2006年の創業以来、環境・エネルギー分野に精通し、豊富な運用実績を持つキャピタリストの総合力によってファンドを運営しています。一貫して投資リターンと共に環境・社会的インパクトを創出してきました。

会社概要

社名	株式会社環境エネルギー投資
英文名	Energy & Environment Investment, Inc. (EEI)
代表	河村 修一郎
設立日	2006年3月3日
役職員数	22名

創業年

2006年

ファンド運用実績

650億円

累計投資先

150社以上

リード社数*

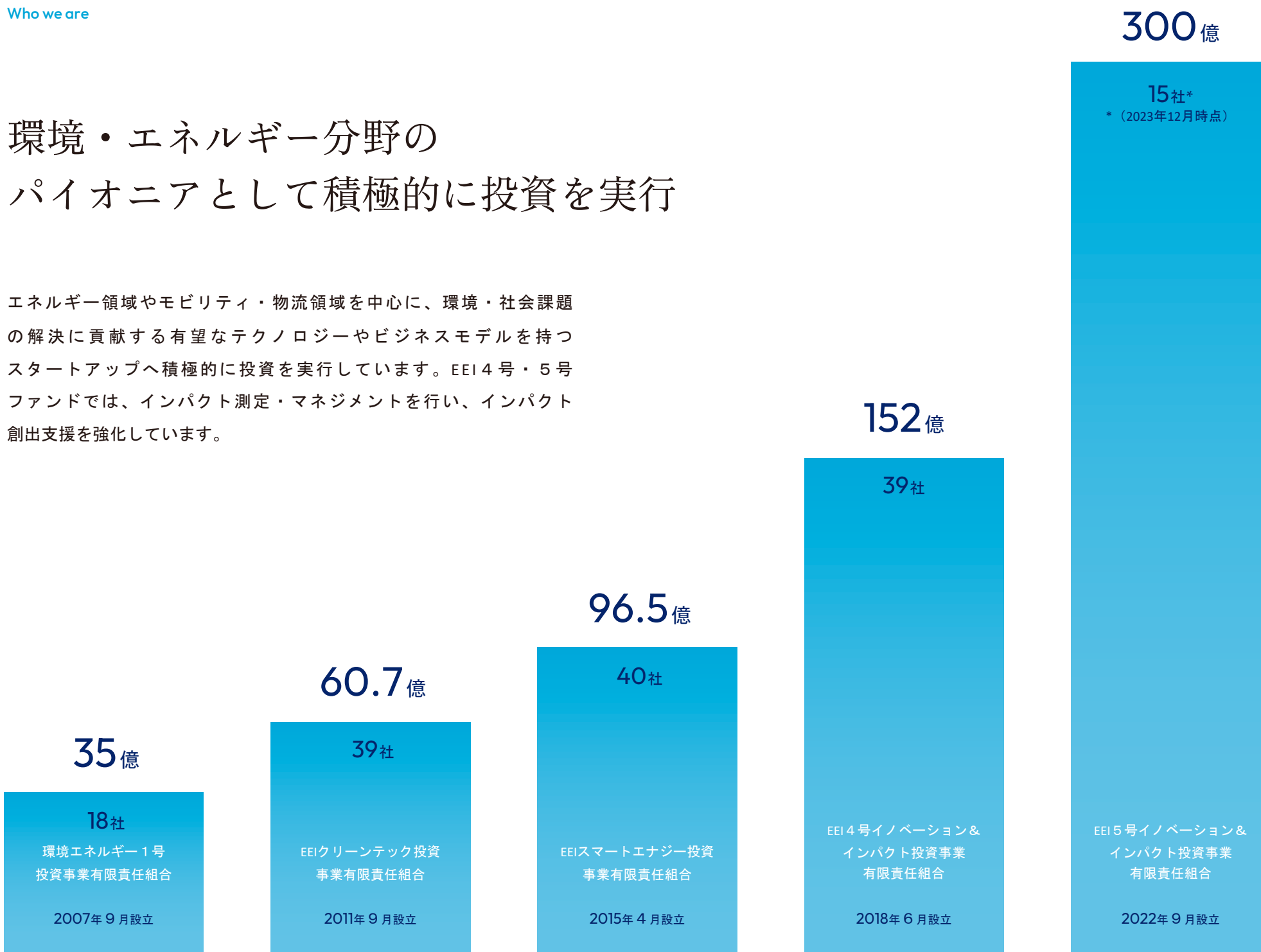
31社 / 54社中

* 4号・5号インパクトファンド実績、2023年12月時点

* 資金調達ラウンドでリード投資家を務めた社数

環境・エネルギー分野の パイオニアとして積極的に投資を実行

エネルギー領域やモビリティ・物流領域を中心に、環境・社会課題の解決に貢献する有望なテクノロジーやビジネスモデルを持つスタートアップへ積極的に投資を実行しています。EEI 4号・5号ファンドでは、インパクト測定・マネジメントを行い、インパクト創出支援を強化しています。

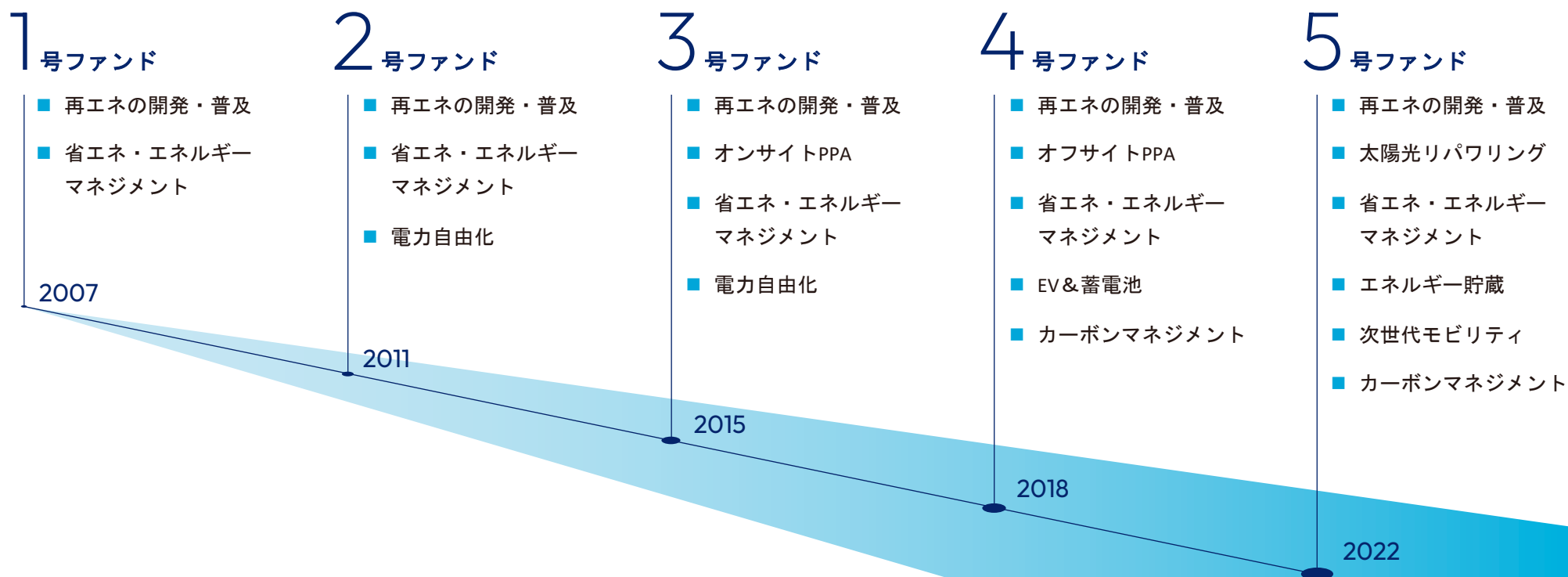




2. Our Fund

スタートアップへの投資を通じて 新産業の創出に貢献

創業当初より、持続可能な社会の構築に向け、エネルギーの構造転換を始めとする時代の半歩先を見据えたテクノロジーや、ビジネスモデルに投資をしています。



2023 Highlights

Portfolio

14 社

新規投資数

4 社

追加投資数

約 2,250 人

累計雇用数

Impact

59,000 t

CO₂排出削減量（直接＋間接）

78,000 MWh

省エネ量

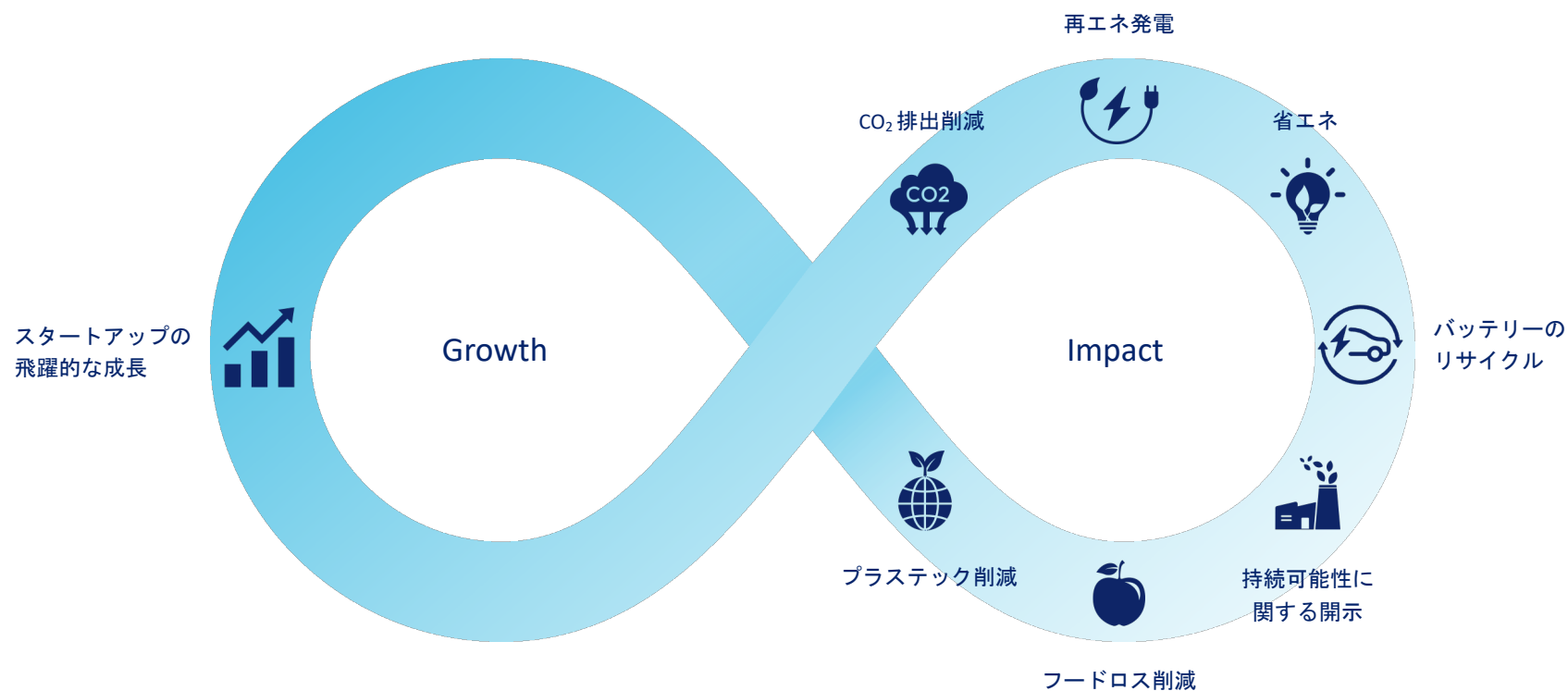
29,000 MWh

再生可能エネルギー発電量

4号・5号ファンド実績、2023年度

事業成長の先にある、 スケーラブルなインパクト創出

大きな課題と市場を狙い、インパクトを創出するスタートアップへの投資をしています。さらに、事業成長とインパクト創出をサポートし、投資先の事業を通じて持続可能な社会へ貢献しています。



スタートアップ投資・支援を通じた 持続可能な社会への貢献

Invest

当社による投資



Capital

スタートアップの成長に
必要なリスクマネー



Knowledge

経験のある投資経験者、
業界の知見やノウハウ



Network

環境・エネルギー領域に
おけるネットワーク



Growth & Impact

投資先の事業成長とインパクト創出



エコシステムの構築や環境・社会課題に
取り組むスタートアップへの資金の増加



Contribute

持続可能な社会への貢献



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

EEIのインパクト投資

創業以来、環境・エネルギー分野の知見とネットワークを活かし、先見性を持って環境・社会課題の解決に取り組むスタートアップの創出や投資を行っています。当社がリスクマネーを提供し、スタートアップの事業成長を支えることが呼び水効果となり、当分野への投資拡大と持続可能な社会の実現を追求してきました。

2018年には「EEI 4号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合」を組成し、投資基準にSDGsやインパクトKPIを取り入れ、事業成長とインパクト創出の支援を強化してきました。2022年に組成した「EEI 5号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合」では、環境・社会課題の先鋭化、インパクトやクライメート・テック分野への市場機会の拡大を背景に、スピードとスケーラビリティを持って成長するスタートアップへの投資を加速しています。

1. Scalable Impact
スケーラブルなインパクトの創出

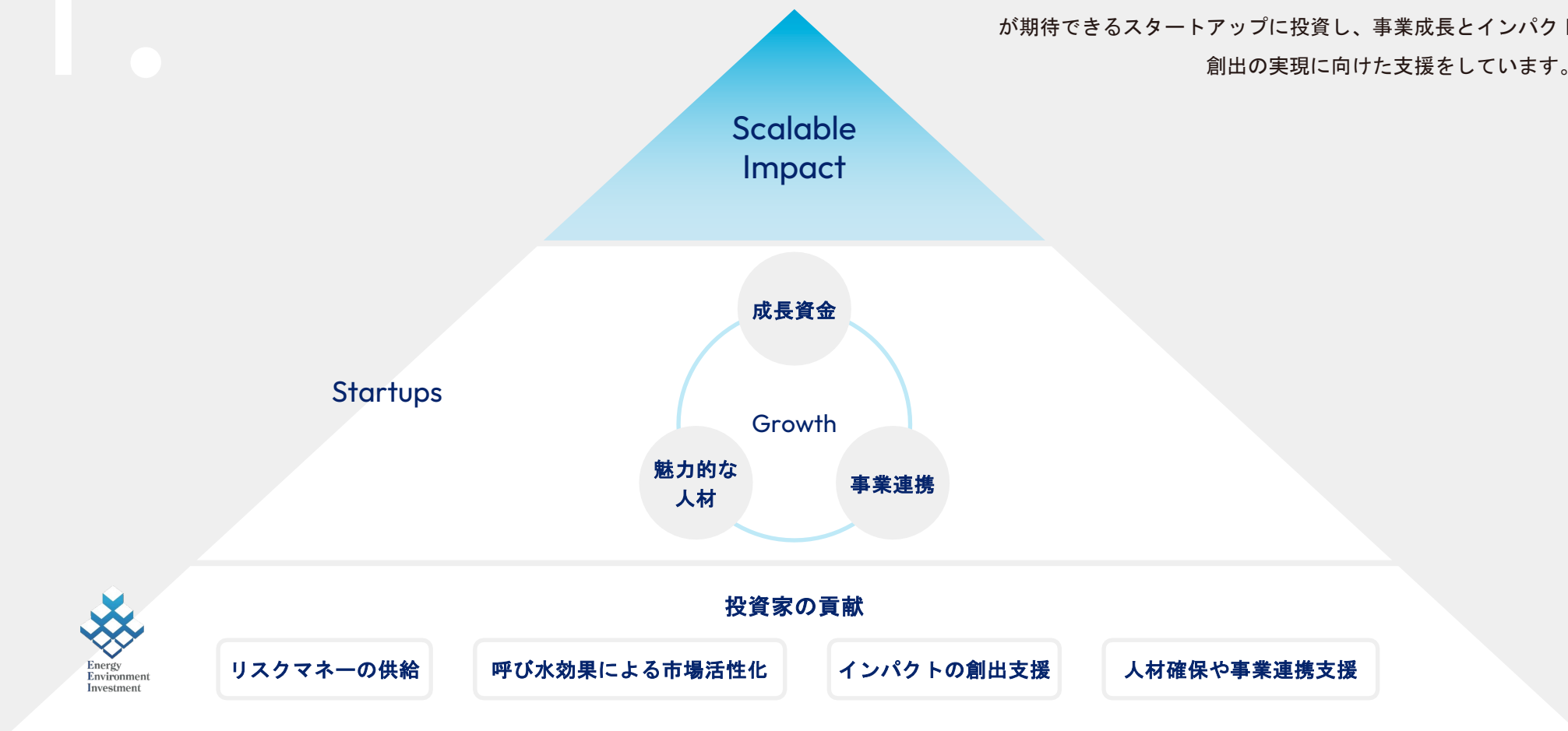
2. Environmental and Social Impact
環境・社会課題の解決

3. Impact-Driven
インパクト志向

Scalable Impact

スケーラブルなインパクトの創出を目指す

課題と市場が大きく、高い成長性と大きなインパクトの創出が期待できるスタートアップに投資し、事業成長とインパクト創出の実現に向けた支援をしています。



2. Environmental and Social Impact

環境・社会課題の解決に取り組む

先見性を持って環境・社会課題へソリューションを提供し、成長が期待できるスタートアップに対して投資をしています。

環境・社会課題の 解決は市場機会

環境・社会課題が先鋭化する中で、大きな課題に挑み、インパクトと事業成長を同時に追求するスタートアップへ投資

インパクト創出 による事業成長

「Innovation and Entrepreneurship」の精神を持ち、半歩先の市場を見据えてソリューションを提供するスタートアップの事業成長とインパクト創出をサポート

日本から世界へ

グローバルに活躍が期待できる日本発の起業家・技術・ビジネスを発掘し、投資。日本の市場から世界にインパクトを与えるスタートアップの成長を支援

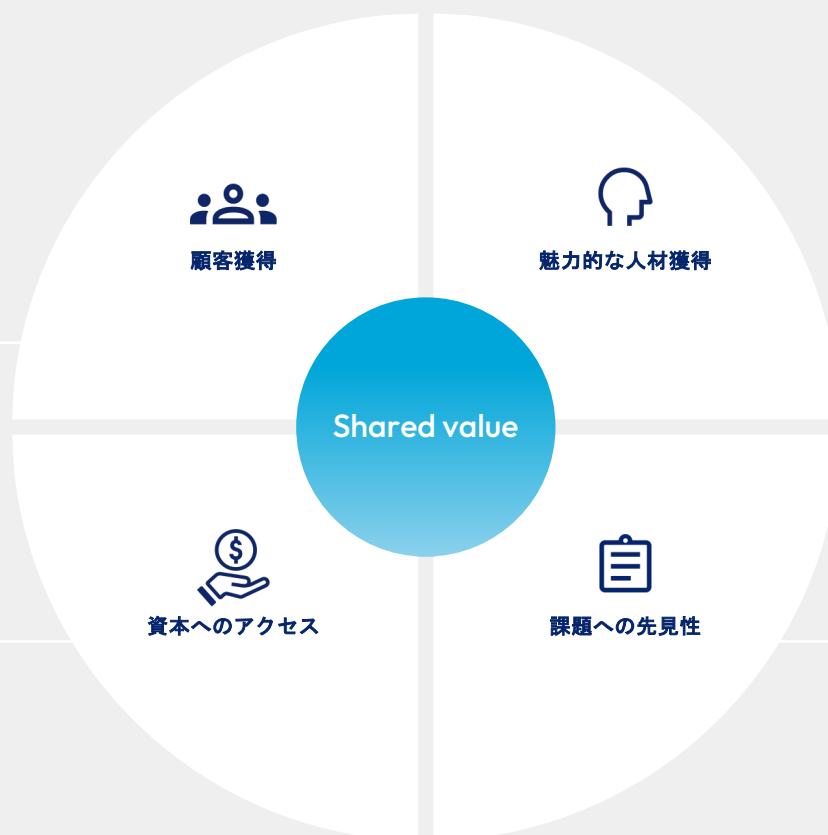
3. Impact-Driven

インパクト志向による事業の成長

インパクト志向の強いスタートアップは高い成長可能性を持っています。当社のネットワークと知見を活かし、これらのリソースの獲得による成長を支援しています。

持続可能な社会や脱炭素社会への志向の高まりにより、顧客獲得機会が拡大

インパクトファイナンスの拡大を受け、インパクト創出を目的とするスタートアップの資本アクセスが向上



優秀な人材がパーパスに共感して参画し、事業成長のキードライバーとして活躍

環境・社会課題解決への期待と、政策支援や規制強化により市場拡大が見込まれる。未成熟な市場にいち早く取り組むことで、ビジネスの優位性を獲得

インパクト投資ガイドライン

環境・社会課題に対し、明確な意志と高い成長性を持って解決策を提供し、インパクトを創出するスタートアップへ投資しています。

1.

スピードと成長性

大きな課題に取り組み、今後の市場と事業成長性が高い故にスケーラブルなインパクト創出が見込まれる

2.

インパクト志向

事業を通じた環境・社会課題解決への意志がある

3.

ユニークさと優位性

事業や技術のユニークさとともに、課題への解決策を先見的に提供することで競争優位性を持つ

4.

インパクト測定と マネジメント

インパクト創出の計測とマネジメントを行い、インパクトの拡大と事業成長を両輪として経営している

5.

インパクト・ アラインメント

事業のコアな部分が当社の注力領域における課題解決とインパクト創出に連動している

投資先に対する成長支援

脱炭素に関心のある国内外の事業会社や金融機関との密なネットワークや、環境・エネルギー分野のスタートアップエコシステムの強みを活かして、アライアンス構築やベストプラクティス共有など、領域特化型VCならではの支援を行っています。



ガバナンス・経営支援

- 社外取締役の派遣等を通じて経営に積極的に関与し、事業成長を支援
- 創業から約20年にわたり蓄積された環境・エネルギー分野に関心のある事業会社との緊密なネットワークを活用した経営



顧客・取引先獲得

- 当該領域における投資先同士や事業会社とのスピード感のある連携
- 国内外のネットワークを活用し、事業会社や金融機関との連携



資本へのアクセス

- 環境・エネルギー分野の専門性を活かして、当該領域への初期の成長資金を供給。当社からのリスクマネー供給を呼び水効果として、エクティおよびデット資金調達を支援



人材支援

- 人的ネットワークを活用して、当該領域における経営人材および専門家をアサイン



インパクト戦略・測定・マネジメント

- インパクト創出の支援や、インパクトの取り組み強化を助言
- インパクト戦略の実践を通じてインパクトエクイティ・デットや補助金の資金調達を支援



3. Impact Approach

インパクト投資プロセス

投資検討時に、事業の成長性とイノベーションを通じたインパクト創出への意志と体制を評価します。投資後は、事業成長・EXITの支援を行いインパクトの拡大を目指します。

● Sourcing & Due Diligence

当社のインパクト投資ガイドラインを基に投資先を特定。インパクト評価手法を用いて網羅的にインパクトを分析

● Investment Committee

SDGsやIRIS+など国際規範を参考に創出を目指すインパクトを特定し、定量的なインパクトKPIを設定

● Portfolio Management

モニタリングを定期的 to 実施し、インパクトの創出と事業成長を支援

● EXIT

上場に向けたエクイティストーリーの策定支援や、インパクト創出の拡大が期待できるトレードセールの実行

インパクト評価手法

インパクト定性評価 / Five Dimensions of Impact フレームワーク

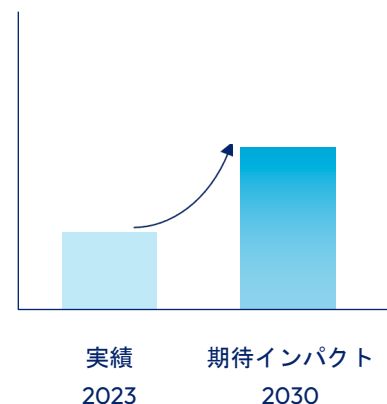
Impact Dimension	Impact Questions
□ What	■ 期間中にどのような成果があるか ■ 成果がプラスかマイナスか ■ それを経験する人々や地球環境にとってどのように重要か
○ Who	■ 誰が成果を経験しているか ■ ステークホルダーがどの程度影響を受けるか
≡ How much	■ 規模、変化の度合い、期間に関して、どの程度の成果が生じるか
+ Contribution	■ 当該事業がなかった場合に、変化が起こりうるか
△ Risk	■ 想定通りのインパクトを生み出せなくなるリスクは何か

インパクトの5つの要素を分析する “Five Dimensions” フレームワークを活用し、インパクトを多面的に評価します。さらに、定量的なインパクトKPIを設定し、インパクト創出に向けて測定・マネジメントを行います。

インパクト定量評価

期待インパクトKPIを設定

定量目標として、SDGsやIRIS+等を参考に、直接的/間接的なインパクトKPIを設定



主なSDGs貢献目標



インパクト評価手法の発展 国際的イニシアチブを参照

インパクト投資手法は発展段階にあります。当社は国際的なガイドラインを参照すると共にImpact Capital Managersなどのインパクト投資家のネットワークへ参画し、学びと改善を繰り返しています。



インパクト投資に関する知見共有やインパクト投資家のネットワーク構築を担う団体。

インパクト投資の指標カタログとしてIRIS+を作成し、随時アップデートを行う。



2015年に国連で採択された持続可能な開発目標 (SDGs)。

17目標に加え、169ターゲットと232指標が設定されており、インパクト投資家も多く採用している。



インパクト投資市場を協働で形成していくことを目指すイニシアチブ。インパクト投資及びImpact Measurement and Management (IMM) 及びレポーティングのガイドラインの発行や研修事業を行う。



インパクト投資の質向上を目指した世界的なVC/PEファンドのコミュニティ。

当社は2020年に国内初のメンバーとして加入。



英 Better Society Capital が事務局を担うインパクトVCのコミュニティ。インパクトVCや起業家向けのプレイブックを発行。

当社は第1回目の研修に参加。

ESG経営の支援

投資ステージや事業成長に応じて、ESG経営の状況を把握し、必要に応じて改善のための計画を話し合います。投資実行時にその時点のESG項目を評価し、年に1回モニタリングを行います。企業の成長スピードにあわせてESG経営の支援を行っています。

Environment

環境配慮

- 製品やサービスに対する環境意識の有無
- 環境マネジメントの実施

Social

社会配慮

- 顧客に対する誠実さ
- 労働慣行
- 公正な経済取引

Governance

経営体制

- 収益と環境社会貢献の両立
- 企業統治体制
- 企業理念・サステナビリティへのコミットメント



4. Investment Domain



3つの重点投資領域

脱炭素を中心とした環境・社会課題に取り組む
スタートアップへ投資しています。

Energy Transition

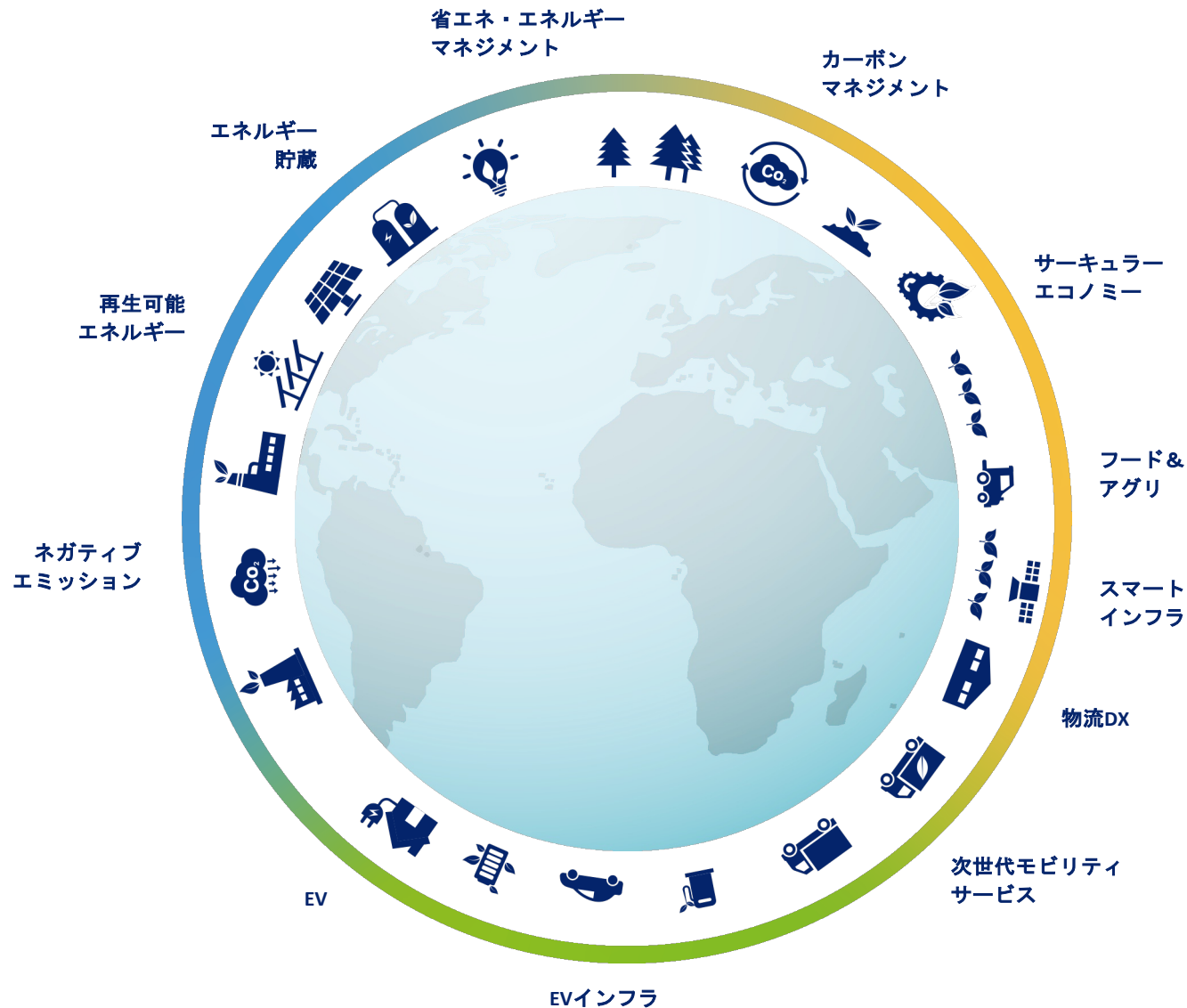
脱炭素社会の実現に向けた
エネルギーの構造転

Mobility & Transportation

輸送関連セクターのCO₂排出削減と
社会課題解決

Smart Society

環境変化や資源不足に対応するための
社会のスマート化と持続可能な基盤づくり



複数の課題に取り組むことによる解決シナジー

脱炭素の課題へのソリューションは、他の環境・社会課題の解決とも深く関係しています。単一の課題に限定せず、複層的な課題への解決に取り組んでいくことが重要だと考えます。

Energy Transition

- エネルギーの安定供給
- 再生可能エネルギー・次世代エネルギー源への移行

Mobility & Transportation

- 移動の安全性・利便性向上
- 人の移動・物流における 人手不足解消
- 移動弱者の低減

Smart Society

- 生態系の保全
- 食糧問題・枯渇する資源への対応
- 循環型社会の実現
- レジリエンスの向上



EEI 4号・5号ファンド主要ポートフォリオ

Energy Transition

再生可能エネルギー



非FIT再エネ開発、
生グリーン電力供給



非FIT太陽光発電所
および小規模蓄電所の開発



地熱発電所の運営



既存太陽光セカンダリー

省エネ・エネルギーマネジメント



IoTデバイス開発・販売、
エネルギーマネジメント事業



シリコンフォトニクス技術を用いた
光トランシーバの開発・販売



分散電源エネルギーマネジメント



換気コントロールを通じた
空調効率化

エネルギー貯蔵



セル単位の制御が可能なBMS開発



アンモニア生成技術

EEI 4号・5号ファンド主要ポートフォリオ

Mobility & Transportation

EV



EVバスの開発・販売



EV物流車の開発・販売



空飛ぶクルマの開発



小型EVの開発・販売

EVインフラ



EV充電プラットフォーム



EV充電器の製造
サービス提供



EVマネジメント

次世代モビリティサービス



インターネットでの
自動車販売



月極駐車場のDX



自動運転トラックによる
幹線輸送

物流DX



物流のラスト
ワンマイルのDX



次世代配送システムの提供



デジタルフォワーダー

EEI 4号・5号ファンド主要ポートフォリオ

Smart Society

カーボンマネジメント

ASUENE

CO₂ 排出量管理



AI・ビッグデータを活用
したESG・SDGsの可視化



森林からのカーボン
クレジットの創出



カーボンクレジット
プラットフォーム

FAEGER

農業由来のカーボン
クレジットの創出

サーキュラーエコノミー



生分解性プラスチック
の開発



藻類を活用した
レアメタル回収

スマートインフラ



SAR衛星ソリューション

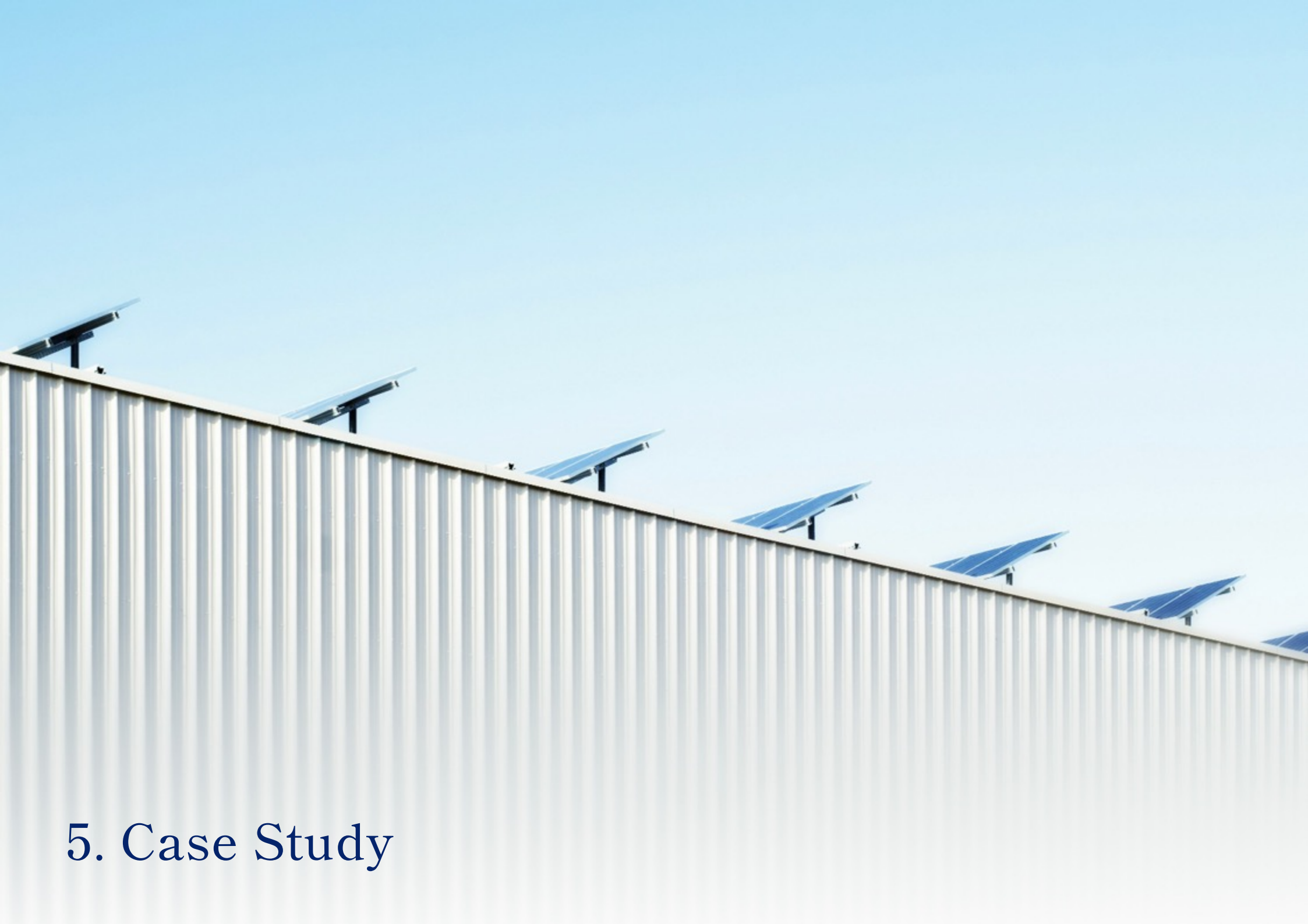


スペースデブリの除去

フード&アグリ



特殊冷凍テクノロジー



5. Case Study

アスエネ

ASUENE

CO₂ 排出量見える化サービスを通じて、
CO₂ 排出量の削減に貢献

本社

東京都

Mission

次世代によりよい世界を。
Changing the world
for the next generation.

インパクトKPI

「ASUENE」、「ASUENE ESG」導入数



■ 事業概要

CO₂ 排出量見える化・削減・報告クラウド「ASUENE」、
サプライチェーン調達のESG評価クラウド「ASUENE ESG」、
GX・ESG人材特化型転職プラットフォーム「ASUENE
CAREER」、非財務データの第三者保証事業「ASUENE
VERITAS」、カーボנקレジット取引所「Carbon EX」を
通じ、企業のサステナビリティ経営をワンストップで支援。

■ 課題

世界で排出されているCO₂の約80%が企業活動によると
推計されており、カーボンニュートラル達成には企業の削減
取り組みが不可欠。サステナブルな企業経営と循環経済の
構築にむけた脱炭素・ESG経営の推進には、大手企業や関連
するサプライチェーン企業の行動変容、特にCO₂算定から
削減実行まで一貫した対策が不足している。



クリーンエナジーコネクト



非FIT再エネ発電所の開発・電力供給を通じて、
CO₂ 排出量の削減に貢献

本社

東京都

Mission

2050年カーボンニュートラルに対し、
制度に依存しない実効的なサービスで、
お客様と共に気候変動対策に
取り組みます

インパクトKPI

再エネ発電量によるCO₂ 排出量の削減



■ 事業概要

脱炭素経営企業、RE100参加企業等の顧客にとって最適な
グリーン電力の導入計画の立案から実行支援、そして導入後
の効果検証および目標達成までのグリーン電力ソリューションをスピーディーかつ柔軟にワンストップで提供。

顧客への電気とその環境価値を届けることにとどまらず、
脱炭素、RE100目標の達成にむけてパートナー・エージェントとしてサポート。

■ 課題

気候変動問題の解決に向けた脱炭素の取り組みにおいて、
再生可能エネルギーの導入・調達方法はますます複雑化しつ
つあり、特に、新規性のある再生可能エネルギーの導入を
行うことが容易でない。故に、多くの企業が再エネ目標達成
に向けて具体的にどう進めればいいのか分からないという課題
がある。



DeepForest Technologies



ドローンデータからの森林解析技術を提供し、
森林由来のカーボンクレジットを創出

本社

京都府

Mission

自然の本質的な価値の把握を可能にし、
持続可能な社会を共創する

インパクトKPI

森林によるCO₂の固定化量



■ 事業概要

ドローンとAIで森林の樹種やCO₂ 固定量などを木一本ずつ可視化する技術を研究開発し、誰もが使えるソフトウェアとして提供。木一本単位で定期的な観測が可能であり、透明性の高い高品質なクレジットの創出を支援。

ドローンを活用した森林管理の効率化や山の資源量の把握、病虫害被害対策などに向けて、森林管理者や地元のドローン計測会社も利用可能なソフトウェアやアプリを提供。

■ 課題

地球温暖化、生物多様性減少、熱帯雨林の伐採、林業衰退など森林・環境課題が深刻化している。

森林計測やモニタリングに労力・コストがかかり、また計測の透明性の担保が困難である。

山の資源量の把握ができないために、需要に対して適切な価格・量の木材を供給するサプライチェーンが未構築である。



KGモーターズ



小型EV車の開発・販売

本社

広島県

Mission

小型モビリティロボットで
持続可能な移動を実現する

インパクトKPI

EVの販売を通じたCO₂排出削減量



■ 事業概要

維持コストや環境負荷が低い一人乗りの小型EVの開発、製造、販売を計画し、現在車両開発を進めている。将来的には、自動運転対応を行い無人配車を可能としたMaaS展開も構想中。

配送、保険、販売金融、充電等、ビジネスバリューチェーンの構築はパートナーシップをもとに行っており、数多くの企業、団体により支援を受けている。

■ 課題

化石燃料に頼らないクリーンなモビリティの普及も求められている中、エネルギー効率がよく経済的負担の低いEVの選択肢が限定的である。

特に地方においては、狭い車幅、少ない乗車人数（約7割が乗車人数1人）、短い移動距離（車移動の約7割が10km未満）など、日々の生活（通勤、通学等）や地域交通における車両のオーバースペックによる無駄なコストやエネルギー消費。また、今後深刻化する地域によるガソリンスタンドの減少等の社会課題も顕在化してきている。



つばめBHB

TSUBAME BHB

エレクトライド触媒を活用したアンモニア供給
システムの開発・販売

本社 神奈川県

Mission

独創的な技術を活用することで
環境・食糧問題にかかる人類課題を解決し、
持続可能な社会を実現する

インパクトKPI

グリーンアンモニア製造によるCO₂排出削減量



■ 事業概要

当社のコア技術であるエレクトライド触媒を使用することで、既存の方法（ハーバー・ボッシュ法）に比べて、低温低圧な環境下でのアンモニアの製造が可能となる。当社の製造方法は、製造プラントの小型分散化を可能とし既に2件の商用機が受注された。将来はスケールアップして大型生産にも参画する。低温低圧であることで、安全性の向上とコスト削減を通じ、グリーン水素の活用など脱炭素とエネルギーの安全保障に貢献する。

■ 課題

クリーンエネルギーとして再エネ由来のグリーン・アンモニアが注目されている。グリーン・アンモニアは、脱炭素社会のキードライバーであり、水素キャリアとして期待されるのみならず、CO₂を排出しないクリーンな燃料として、船舶・航空機等の大型輸送の領域や、火力発電でのアンモニア専焼等での利用が期待されている。既存のアンモニア製造方法であるハーバー・ボッシュ法では、高温・高圧の環境下でアンモニアを製造するため、多額の設備投資や多くの操業エネルギーを必要とする。



デイブレイク



特殊冷凍テクノロジーにより食品流通の課題を解決

本社

東京都

Mission

食品流通で世明けを目指す
作り手から食べ手までの
より良い未来を創造する

インパクトKPI

フードロス削減量



■ 事業概要

高品質な冷凍食品化を可能にする自社開発特殊冷凍機と冷凍技術に関わるソリューション提供のハードとソフトの両面のユニークなアプローチにより、販路の拡大や新商品の開発による売上向上と食品ロス削減や計画生産の実現によるコスト削減を実現。

食品業界の課題解決を行うとともに、特殊冷凍を活用したオリジナル製品の企画や開発を行い、真の日本食を世界中に流通させるグローバルプラットフォームも構築中。

■ 課題

低い生産性、低利益率、フードロス、人手不足、といった食品業界をとりまく課題が旧態依然として残っている。

特に、フードロスは世界体の8-10%（※1）のCO₂ 排出量を占め、国内では年間約472万トン（※2）にも及ぶ環境負荷が高い産業である。

（※1） World Resource Institute “The Global Benefits of Reducing Food Loss and Waste, and How to Do It”

（※2） 環境省「我が国の食品ロスの発生量の推計値（令和4年度）の公表について」



6. Team

EEI Team



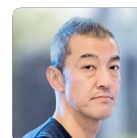
代表取締役社長
河村 修一郎
Shuichiro Kawamura



取締役 パートナー
細谷 賢由
Kenyu Hosoya



取締役 パートナー
宇田 直樹
Naoki Uda



取締役 パートナー
中村 謙吾
Kengo Nakamura



パートナー
西川 徹
Tohru Nishikawa



パートナー
小林 孝宏
Takahiro Kobayashi



**管理部長
プリンシパル**
須田 誠
Makoto Suda



**モビリティ事業創造室 室長
プリンシパル**
林 隆介
Ryusuke Hayashi



プリンシパル
池田 顕史
Akifumi Ikeda



プリンシパル
日野 太樹
Taiki Hino



プリンシパル
松下 知宏
Tomohiro Matsushita



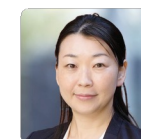
キャピタリスト
山岸 龍博
Tatsuhiko Yamagishi



キャピタリスト
松永 純
Jun Matsunaga



キャピタリスト
尾崎 千紘
Chihiro Ozaki



**インパクト・オフィサー/
キャピタリスト**
森江 久美子
Kumiko Morie



**インパクト・オフィサー/
キャピタリスト**
石田 ともみ
Tomomi Ishida



管理部 マネージャー
鈴木 千枝
Chie Suzuki



管理部 スタッフ
柴田 朋子
Tomoko Shibata



コーポレート・スタッフ
細井 若奈
Wakana Hosoi



**エグゼクティブ・
アシスタント**
長尾 朋子
Tomoko Nagao



ベンチャー・パートナー
白石 到
Itaru Shiraishi
欧州駐在



ベンチャー・パートナー
矢野 方樹
Masaki Yano
欧州駐在

エネルギー、モビリティ、IT、金融、テクノロジー等のバックグラウンドに加えて、スタートアップ経営歴を持つメンバーも多く、多様な分野で多彩な経験を持つチームです。



<https://ee-investment.jp/>